

第 277 回環境委員会・第 214 回フタレート部会 議事録

日 時 2024 年 11 月 26 日（火） 13:30～15:00

場 所 東部ビル 1 階事務所ハイブリッド開催

出席者 安藤環境委員長、楯谷副委員長、加茂川副委員長、宮崎謙一フタレート部会長、
高見技術部会長、小野広報部会長、長田委員、藤澤委員、古賀アジペート部会長、小川アドバイザー、
宮崎常昭アドバイザー
盛田会長、根岸副会長、山下理事、柳瀬技術部長、山口（記）

欠席者 石神副委員長

冒頭、参加者全員が独禁法遵守ガイドラインを確認した。

11 月度トピックス：柳瀬技術部長

- ・欧州：仏国で容器包装材の拡大生産者責任スキーム政令案のパブコメに付されている
- ・米国：DINP のリスク評価案に対する SACC の報告書はフタレート部会にて読み込みしている
：加州でプラスチック汚染処理の負担を消費者から生産者へ移す法案がパブコメに付されている

1. 各部会報告

1-1. フタレート部会

1-1-1. 環境 WG

高見部会長より報告。

・鹿児島大学宇野教授を訪問し、底質のリスク評価、法制化の状況を聴取した。底質については法制化の動きはない。リスク評価方法の確立が難しい。JPIA 調査の PPM 単位の結果は結構高いと言えるが、サンプル採取場所・条件の考慮が必要。

（柳瀬部長）化審法の環境省の委員をやられているので情報収集のため今後も関係を継続したい。一度講演をしていただきたいと考える。EU の底質評価のガイダンスのデフォルト値が極端に低いので要注意とのこと。

1-1-2. 調査 WG

宮崎部会長より報告。全 85 件、上半期で 2 年ぶりに 400 件を超えた。傾向としては DEHP、DBP の割合が漸減、DINCH、DOTP が増えている。

2411-024：日本、名古屋市立大学、幼児期のフタル酸エステルのはく露と肥満の関係調査→相関が見られない

2411-029：スイス、床材のリサイクルを増やすと製品中の有害フタル酸エステルが増加するので、リサイクルにはこれを低減する方策が必要。

2411-048：ドイツ、フタル酸エステルを魚類にはく露することで魚類の神経細胞機能への影響が見られた。

柳瀬部長：2411-029 は実データからのシミュレーションか？

宮崎部会長：ご理解の通りである。

1-2. アジペート部会

1-2-1. PVC 安全衛生連絡会

古賀部会長より報告。

・INC-5 開催中。議長案がノンペーパーで示されそれを討議中。プラ工連主催の経産省事前説明によれば、日本政府は従来通り、懸念される化学物質がリスト化されたとしても規制は一律でなく各国の実情の応じて実施されるべきという主張を継続する。

1-3. 広報部会

小野部会長より報告。

・インドの Vinyl India からクロルアルカリサミット（2025/4）の案内が来ているので参加可否を連絡する必要あり。

1-3-6. 可塑剤インフォメーション発行関連

・20 頁→24 頁になったが予算は超えない見込み。年内発行予定。

1-4. 技術部会

高見技術部会長より報告。

1-4-1. 顧客からの問い合わせ

・柳瀬部長より説明

1-4-4. 化学商品改訂対応

・11 月 19 日に化学工業日報社へ回答済み。

1-4-9. JIS 内容見直し

・日本規格協会より JIS K 1525（オクタノール）の見直し要請があり。5 年前は緊急的に可塑剤工業会で受けて調整したが今回はメーカーに問い合わせを欲しいという回答をした。

小川アドバイザー：ブタノールは問い合わせが来て回答済み。オクタノールの問い合わせはないが日本規格協会から問い合わせが来れば対応する。

1-4-10.

山口事務局長：JPEC の LCI 更新が来年にずれ込む予定。パイプ、波板は時期がずれるだけだが、農ビはどうかははっきりしていない。

1-4-11. GHS 分類

・政府分類と JPIA の分類の比較表の記載内容見直し実施中。春の SDS 見直しで、政府分類を最新版にし、JPIA は表現が変更された部分を変更した。その SDS に合わせた形で比較表を修正する。JPIA の判断理由の変更等は検討に時間がかかるので先送りする。

2. PVC 関連団体とのコワーク他

柳瀬部長より説明。

3-3-5. FDA 関連

・食品接触材料の PL について NGO の 8 種のフタル酸エステルに関する消除請願について、使用実態調査の上、請願を却下した。

5-0-4. IARC

・IARC は IARC モノグラフ中の評価の優先度を公表した。DEHP は従来通り、優先度低となったが、DBP、DINP などは優先度高のグループとなった。2.5 年以内に評価されることとなる。

以 上